

15.前ページ12~14の手順でボンベ側もカバーのボタンを留めながら中に収納します。(図15)

16.全体にネジしなどがなければ確認しながら、形を整えます。(図16)

17.未使用の適合サイズカートリッジボンベ*を取付けます(図17)

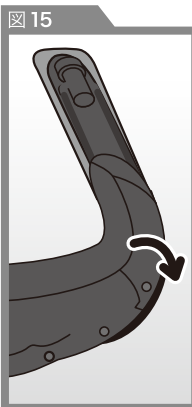
(*2ページの①-②参照)
未使用のカートリッジボンベを、キーボックスの取付けネジ部分に根元までねじ込んで下さい。異常が感じられる場合は取扱店にご相談下さい。



カートリッジボンベのシールの指示方向に締めて取付けます

注意!
カートリッジボンベのねじ込みが緩いと、エアバッグ作動の際に膨らみが弱くなるなどの誤作動の原因になります。

18.《装着ウェア》の装着部(マジックテープ、ファスナー等)へ取付けます。(図18)ワンタッチコネクターメス部をキーボックスカバー穴から外に出し、キーボックスカバーがあるものは閉めて下さい。

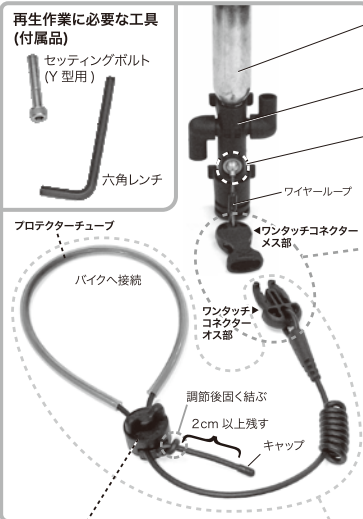


完了

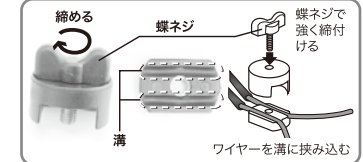
23

9

はじめに ヒットエアに装備されたアクセサリ



ループセッター (P15参照)
伸縮ワイヤーをバイクに取付ける際に固定するネジ
伸縮ワイヤーをバイクに取付け、長さ調節をした後でループセッター下部の溝にワイヤーを固定し、蝶ネジを締めます。

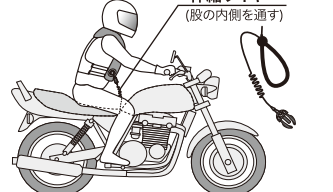


プロテクターチューブ (P15~16参照)
バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー
伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレーム、ハンドルなどの巻きつけ箇所の形状に応じ、適度な長さで切断して下さい。

CO²カートリッジボンベ (P13参照)
キーボックスが作動するとボンベからCO²ガスがエアバッグ(各気室)へと送り込まれ膨らみます。
キーボックス(Y型) (P12参照)
YKKと共同開発した小型軽量型キーボックス
キーボール(Y型) (P13参照)
キーボールが抜けるとエアバッグが作動します。キーリングはキーボールをキーボックスに固定するパーツです。
ワンタッチリリース(コネクター) (P14参照)
乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接合して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。(YKKと共同開発したバックル型)

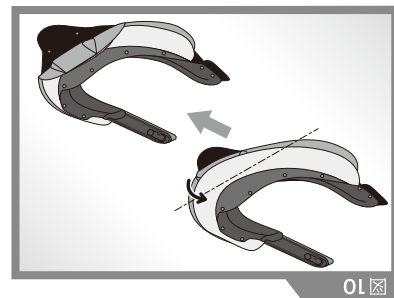


伸縮ワイヤー (P15参照)
強度に優れたケブラー糸を使用したワイヤーにウレタン樹脂で表面をコーティングしています。
伸縮ワイヤー (股の内側を通す)

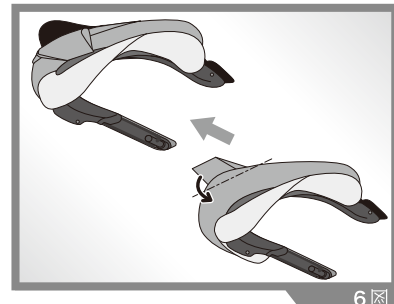


4

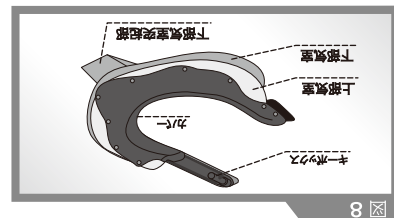
12



注意!
上下気室を重ねて丸め込んだ状態で収納しないと、重ねて丸め込んだ状態で収納すると、正常に作動しない恐れがあります。
重ねて丸め込んだ状態は×です。
はたき。 10. 上部気室と合わせて内側にたたかた (図10)



9. 下部気室の突起部を上内側にたたかた (図9)



8. 上下気室からカスか抜けた事を確認します。(図8) 気室収納は背面部から収納していきます。

注意!
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。